

お知らせ

特殊鋼関連統計調査改正のお知らせ について

社団法人 特殊鋼倶楽部

経済産業省より、特殊鋼に関する統計調査について、平成19年の調査分から以下の通り一部改正されるとのお知らせです。

会員をはじめ各位におかれましては、周知方お願い申し上げます。

特殊鋼関連統計調査の改正について

平成18年12月
経済産業省鉄鋼課

この度、鉄鋼関連の以下の統計調査のうち、特殊鋼関連の調査項目について一部改正が行われましたので、改正概要をお知らせします。

なお、本改正は平成19年の調査から適用になります。

1. 統計改正の趣旨

世界のステンレス需給動向の変化に伴い、我が国ステンレス需給においても輸出の減少、輸入の増加等といった大きな変化が想定される場所です。かかる状況の下、国際的に共通な統計分類に基づき、品種毎の需給状況を適切に把握することが、各国との情報交換、さらにはアンチ・ダンピング等通商問題への迅速な対応にとって不可欠であるとの認識から、この度、国際ステンレス協会（ISSF）において適用されているステンレス統計分類に国内のステンレス統計を整合させることとしたものです。

2. 指定統計の改正

生産動態統計 鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計

（調査票名：鉄鋼月報（その5）特殊鋼圧延鋼材）

本調査は、統計法（昭和22年法律第18号）に基づく経済産業省生産動態統計調査規則（指定統計第11号）により、経済産業省調査統計部が実施する統計調査です。

👉 今回の改正内容

- ・ 「ステンレス鋼」の鋼種分類が4種から5種に変更になります。
- ・ 「耐熱鋼」及び「高マンガン鋼」の項目が廃止になり、「その他の特殊用途鋼」が新設されます（耐熱鋼の一部は、ステンレス鋼での報告となります）。
- ・ 鋼種の定義なども変更されていますので、詳細は記入要領を御参照ください。

鉄鋼月報（その5）特殊鋼圧延鋼材＜抜粋＞

品目	項目番号	生産					消費				月末在庫	
		形鋼	棒鋼	平鋼	管材	線材	鋼板	鋼管	鋼板	鋼管		
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
工具鋼	炭素工具鋼	0131										
	合金工具鋼	0132										
	高速度工具鋼	0133										
	その他の工具鋼	0134										
構造用鋼	炭素鋼	0135										
	構造用合金鋼	0136										
特殊用途鋼	ばね鋼	0137										
	軸受鋼	0138										
	ステンレス鋼	0139										
	ステンレス鋼	0140										
	ステンレス鋼	0141										
	特殊鋼	0142										
	耐熱鋼	0143										
	快削鋼	0144										
	ピアノ線材	0145										
	高強度鋼	0146										
高マンガン鋼	0147											
計	0148											
合わせ鋼材	0149											

1-4. 特殊鋼冷間仕上鋼材生産・消費内訳		単位：t							備 考	
品 目	番 号	生 産			再 冷 延 用 消 費			鋼 材 再 消 費		
		炭素鋼	低合金鋼	冷延鋼板	炭素鋼	低合金鋼	冷延鋼板		冷延鋼材	
		A	B	C	D	E	F	G		
工 具 鋼	炭素工具鋼	0151								
	合金工具鋼	0152								
	高速度工具鋼	0153								
	その他の工具鋼	0154								
構 造 用 鋼	機械構造用炭素鋼	0155							企 業 名	
	構造用合金鋼	0156								
特 殊 用 鋼	ばね鋼	0157							事 業 所 名	
	軸受鋼	0158								
耐 熱 鋼	ステンレス鋼	0159							甲 告 者 の 氏 名	
	Cr系	0160								
	Ni-Cr系	0161								
	Ni-Mn系	0162								
高 強 力 鋼	耐熱鋼	0163							本 店 所 在 地	
	快削鋼	0164								
	高抗張力鋼	0165								
	高マンガン鋼	0166								
計		0167								
合 計		0168								

鉄鋼月報記入要領<抜粋>

「ステンレス鋼」は、炭素の含有量が全重量の1.2%以下で、クロムの含有量が全重量の10.5%以上の合金鋼をいいます。

なお、ステンレス鋼の鋼種区分は、基本的に次の成分によってください。

鋼種区分	Cr	Ni	Mn	Mo
Cr系	10.50%以上	2.50%以下	1.00%以下	0.20%未満
Cr-Mo系	10.50%以上	2.50%以下	1.00%以下	0.20%以上
Cr-Mn系	10.50%以上	6.00%以下	3.00%以上	—
Cr-Ni系	10.50%以上	Niが6.00%超のもの又は		0.20%未満
Cr-Ni-Mo系	10.50%以上	Mnが3.00%未満のもの		0.20%以上

注：「Cr系」、「Cr-Mo系」はフェライト系またはマルテンサイト系、「Cr-Mn系」はオーステナイト系、「Cr-Ni系」はオーステナイト系または析出硬化系、「Cr-Ni-Mo系」はオーステナイト系またはオーステナイト・フェライト系です。

3. 承認統計の改正

鉄鋼需給動態統計

(調査票名：特殊鋼鋼材需給月報、鉄鋼生産内訳月報)

本調査は、統計報告調整法(昭和27年法律第148条)に基づき、総務大臣の承認を受けた上で、経済産業省鉄鋼課が実施する統計調査です。前項の生産動態統計を補完するもので、今般の改正に伴い、本承認統計も改正を行いました。

今回の改正内容

- 「ステンレス鋼」がCr系、Ni系の2種に分割されます。
- 「耐熱鋼」及び「高マンガン鋼」の項目が廃止になり、「その他の特殊用途鋼」が新設されます(耐熱鋼の一部は、ステンレス鋼での報告となります)。
- 鋼種の定義なども変更されていますので、詳細は記入要領を御参照ください。

特殊鋼鋼材需給月報<抜粋>

特殊鋼鋼材受払		(単位：t)				
鋼種	番号	受入		販売		月末在庫
		生産工場	販売業者	消費者	販売業者	
		A	B	C	D	
工具鋼	炭素工具鋼	0101				
	合金工具鋼	0102				
	高速度工具鋼	0103				
	その他の工具鋼	0104				
構造用鋼	機械構造用炭素鋼	0105				
	構造用合金鋼	0106				
特殊用途鋼	ばね鋼	0107				
	軸受鋼	0108				
特殊用途鋼	ステンレス鋼	0109				
	ステンレス鋼	0110				
特殊用途鋼	快削鋼	0111				
	ピアノ線材	0112				
特殊用途鋼	高抗張力鋼	0113				
	その他の特殊用途鋼	0114				
合計		0115				
特殊鋼鋼管(軸受鋼を除く)		0116				

鉄鋼生産内訳月報<抜粋>

I. 特殊鋼外販用鋼材販売 - 在庫		(単位：t)				
品目	番号	販売				月末在庫
		産社	国内最終消費		輸出	
		鋼管等送付	消費者向	販売業者向		
A	B	C	D	E		
工具鋼	炭素工具鋼	0101				
	合金工具鋼	0102				
	高速度工具鋼	0103				
	その他の工具鋼	0104				
構造用鋼	機械構造用炭素鋼	0105				
	構造用合金鋼	0106				
特殊用途鋼	ばね鋼	0107				
	軸受鋼	0108				
特殊用途鋼	ステンレス鋼	0109				
	ステンレス鋼	0110				
	ステンレス鋼	0111				
	ステンレス鋼	0112				
特殊用途鋼	快削鋼	0113				
	ピアノ線材	0114				
特殊用途鋼	高抗張力鋼	0115				
	その他の特殊用途鋼	0116				
合計		0117				

「ステンレス鋼」がCr系・Ni系に2分割されます。

「耐熱鋼」「高マンガン鋼」が廃止され、「その他の特殊用途鋼」が新設されます。

「ステンレス鋼」の「鋼板」がCr系・Ni系に2分割されます。

「耐熱鋼」「高マンガン鋼」が廃止され、「その他の特殊用途鋼」が新設されます。

特殊鋼鋼材需給月報記入要領<抜粋> 鉄鋼生産内訳月報も同様です

〔ステンレス鋼〕: ステンレス鋼は、炭素の含有量が全重量の1.2%以下で、クロムの含有量が全重量の10.5%以上の合金鋼をいいます。なお、ステンレス鋼の鋼種区分は、基本的に次の成分によってください。

鋼種区分		Cr	Ni	Mn	Mo
Cr系	Cr系	10.50%以上	2.50%以下	1.00%以下	0.20%未満
	Cr-Mo系	10.50%以上	2.50%以下	1.00%以下	0.20%以上
Ni系	Cr-Mn系	10.50%以上	6.00%以下	3.00%以上	-
	Cr-Ni系	10.50%以上	Niが6.00%超のもの又は		0.20%未満
	Cr-Ni-Mo系	10.50%以上	Mnが3.00%未満のもの		0.20%以上

注: 「Cr系」、「Cr-Mo系」はフェライト系またはマルテンサイト系、「Cr-Mn系」はオーステナイト系、「Cr-Ni系」はオーステナイト系または析出硬化系、「Cr-Ni-Mo系」はオーステナイト系またはオーステナイト・フェライト系です。